

令和2年度 事業報告書

公益財団法人 えひめ東予産業創造センター

○ 総論

令和2年度は、前年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の猛威に見舞われた1年でありました。

現在も未だ終息には至らず、全国的には東京および関西地区において3回目となる緊急事態宣言が発令され、愛媛県においてもまん延防止等重点措置が取られております。今後、このままの状況が続けば、医療機関の負荷は限界に達するなど、市民生活や社会経済活動にさらに深刻な影響が生じることとなります。

このような中、当センターにおきましても諸事業の実施に当たり中止や変更が各分野で生じ、厳しい運営となりましたが、「産業人たる自覚を持って地域を愛し、新産業の創造による地域経済の発展・活性に寄与する」を経営理念として、次の業務に鋭意取り組んで参りました。

1. 法人業務

公益財団法人えひめ東予産業創造センターを適正・健全に経営・管理するため、理事会・評議員会を開催するほか地域行政・各機関との調整や必要な管理業務を行いました。

2. 企業活動支援のための業務

地域経済の持続的成長を実現すべく定款に定める事業

- 1 新産業創出及び地域産業革新の支援
- 2 地域企業の経営基盤強化の支援
- 3 産業技術の高度化の支援
- 4 地域産業支援のための施設の運営
- 5 自治体等の所有する施設の管理及び運営（該当事業なし）
- 6 地域経済の発展・活性に資する情報の収集、加工、創出及び提供
- 7 地域経済の発展・活性に資する団体及び組織等との交流及び支援
- 8 将来の地域経済・産業を担う人材の育成
- 9 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

当年度は、経常収益では令和元年度に比べ、公益自主事業の研修事業やプラントメンテナンス技術者・技能者育成事業の受講者数の減少や公益受託事業の事業実施内容の中止・変更等により収益が縮減しました。

一方、経常費用では租税公課等において増嵩となり、この結果、当期経常増減額は80万円余の赤字となりました。

主な事業成果としては、大型展示会関係では関西機械要素技術展をはじめとする各展示会での本年度受注成果が17億8千6百万円余となり、10年間の累計で74億2千4百万円余となりました。

その他、新産業創出関係ではローカル5Gや協働ロボットの啓発、新たな研究開発や先進的な技術実証への支援を行い、人材育成関係ではプラントメンテナンスや現場カイゼンでの支援、IoT推進ラボの実施準備などを行いました。

これらの結果、当センターの目的である地域経済の発展に寄与することができましたが、新型コロナ対応も含め大変革の時代に対応する取り組みが今後一層重要となります。

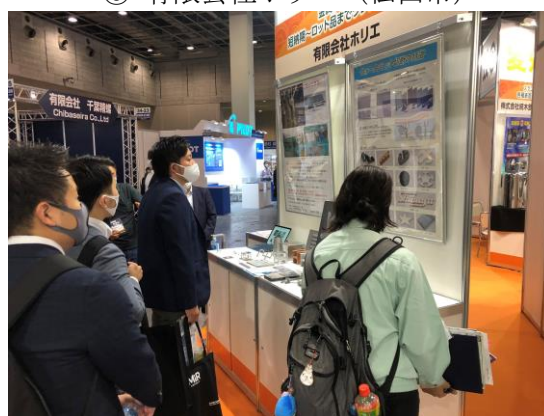
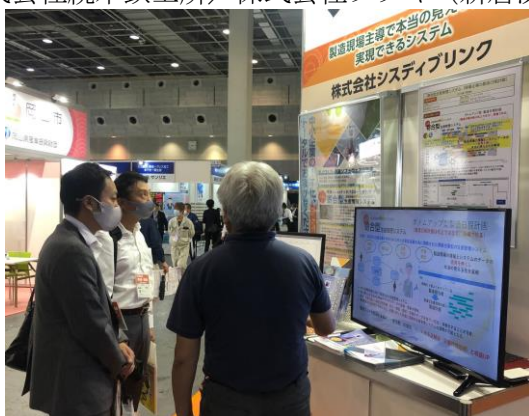
- 1-1. 大型展示会への県ブース出展支援事業 [愛媛県・委託、出展企業負担 ¥27,757,183]
- 1-3. 新居浜ものづくりブランド創出・支援等事業（展示会出展） [新居浜市・委託 ¥15,958,849]
- 1-4. 西条市技術展示会出展事業 [西条市・委託、出展企業負担 ¥5,028,230]

1. 大型展示会へのブース出展

大都市圏で開催される大型展示会へ愛媛県・新居浜市・西条市が一体となったブースを出展し、東予に集積する製造業をはじめとする県内ものづくり企業の優れた技術力や商品等をアピールするとともに、愛媛県のものづくり力の知名度向上や商談への糸口を開くために事業を実施した。

- (1) 関西機械要素技術展 [1-1、1-3、1-4] (インテックス大阪 2020年10月7日～9日)
出展企業の募集選定、出展支援業務を実施。展示会来場者の名刺データ化149件。
出展企業は次の6社。

- ① 株式会社小野鐵工所（新居浜市）
- ② 株式会社サイバー（新居浜市）
- ③ 株式会社シスディブリンク（西条市）
- ④ ツウテック株式会社（東温市）
- ⑤ 株式会社続木鐵工所／株式会社ツツキ（新居浜市）
- ⑥ 有限会社ホリエ（松山市）



- (2) TECHNO-FRONTIER バーチャル展示会 [1-1]
(オンライン上にて 2020年9月8日～18日、9月28日～10月2日)

出展企業の募集選定、出展支援業務を実施。閲覧来場者数は830名。出展企業は次の10社。

- ① 株式会社エム・コット（松山市）
- ② 株式会社コスにじゅういち（新居浜市）
- ③ 株式会社サイバー（新居浜市）
- ④ システムエルエスアイ株式会社（松山市）
- ⑤ Celco Japan株式会社（大洲市）
- ⑥ 株式会社高須賀製作所（松山市）
- ⑦ 田中技研株式会社（西条市）
- ⑧ ツウテック株式会社（東温市）
- ⑨ 株式会社フジコソ（東温市）
- ⑩ 株式会社ユタカ（松山市）

- (3) エヌプラス [1-1、1-3、1-4] (東京ビッグサイト 南4ホール 2020年11月4日～6日)
出展企業の募集選定、出展支援業務を実施。展示会来場者の名刺データ化511件。
出展企業は次の6社。

- ① ウシオマテックス株式会社（今治市）
- ② 株式会社エムアドバンス（西条市）
- ③ 株式会社コスにじゅういち（新居浜市）
- ④ 田中技研株式会社（西条市）
- ⑤ ツウテック株式会社（東温市）
- ⑥ 株式会社フラスコ（西条市）



(4) METALEX [1-1] (バンコク 2020年11月18日～21日)

出展企業3社程度の募集選定、出展支援業務をジャパン・パビリオン内で実施予定であったが、パビリオン幹旋者であるJETROが出展を取り止めたため中止となった。

(5) ジンマー・バイオメットとのオープンイノベーション&ビジネスマッチング [1-1]
(オープンイノベーション 2020年11月11日、ビジネスマッチング 2020年12月2日)

医療機器メーカーであるジンマー・バイオメットのニーズを紹介するオープンイノベーションセミナーを開催した。セミナー後、それらのニーズに対する提案企業を募ったところ、県内企業7社からの応募があり、個別商談会を実施した。参加企業は以下のとおり。

- ① アプライズ株式会社 (西条市)
- ② イトマン株式会社 (四国中央市)
- ③ 丸鷹産業株式会社 (今治市)
- ④ 株式会社飯尾電機 (新居浜市)
- ⑤ 株式会社本田洋行 (四国中央市)
- ⑥ 株式会社タケチ (松山市)
- ⑦ ダイオーエンジニアリング株式会社 (四国中央市)

(6) スマート工場EXPO [1-1] (東京ビッグサイト 青海展示棟 2021年1月20日～22日)

出展企業の募集選定を行い、出展支援業務を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言の発出があったため愛媛県ブースとして出展は中止となった。

なお、出展していた場合、下記の5社が出展予定であった。

- ① システムエルエスアイ株式会社 (松山市)
- ② Celco Japan株式会社 (大洲市)
- ③ 大和エンジニアリング株式会社 (伊予郡松前町)
- ④ 株式会社ディースピリット (松山市)
- ⑤ ユースエンジニアリング株式会社 (新居浜市)

(7) 株式会社日立プラントメカニクスへの愛媛県知事のトップセールス [1-1]

(オンライン開催 2021年1月25日)

中村時広愛媛県知事による株式会社日立プラントメカニクス・中尾剛取締役社長へのトップセールスを企画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により頓挫。代替として、知事・社長の出席は無かったが、規模を縮小してオンラインでの展示商談会を開催・実施した。

出展企業は次の7社。

- ① 株式会社愛新鉄工所 (新居浜市)
- ② 株式会社飯尾電機 (新居浜市／西条市)
- ③ 株式会社小野鐵工所 (新居浜市)
- ④ 有限会社塩崎製作所 (新居浜市)
- ⑤ 株式会社曾我部鐵工所 (新居浜市)
- ⑥ 眞鍋造機株式会社 (今治市)
- ⑦ 宮田鉄工株式会社 (西条市)



(8) 機械要素技術展 [1-1、1-3、1-4] (幕張メッセ 2021年2月3日～5日)

出展企業の募集選定を行い、出展支援業務を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言の発出があったため愛媛県ブースとして出展は中止となった。

なお、出展していた場合、下記の7社が出展予定であった。

- ① ツウテック株式会社 (東温市)
- ② 株式会社コスにじゅういち (新居浜市)
- ③ 株式会社タステム (新居浜市)
- ④ 株式会社エムアドバンス (西条市)
- ⑤ 株式会社ダイテック (西条市)
- ⑥ 株式会社フラスコ (西条市)
- ⑦ 株式会社曾我部鐵工所 (新居浜市)

(9) メンテナンス・レジリエンス バーチャル2021 [1-1]

(オンライン上にて 2021年2月16日～26日)

出展企業の募集選定、出展支援業務を実施。閲覧来場者数は499名。出展企業は次の3社。

- ① 株式会社愛新鉄工所（新居浜市） ② 株式会社大石工作所（新居浜市）
 ③ 株式会社続木鉄工所／株式会社ツヅキ（新居浜市）

2. ものづくり技術シーズ展示会〔1-3、1-4〕

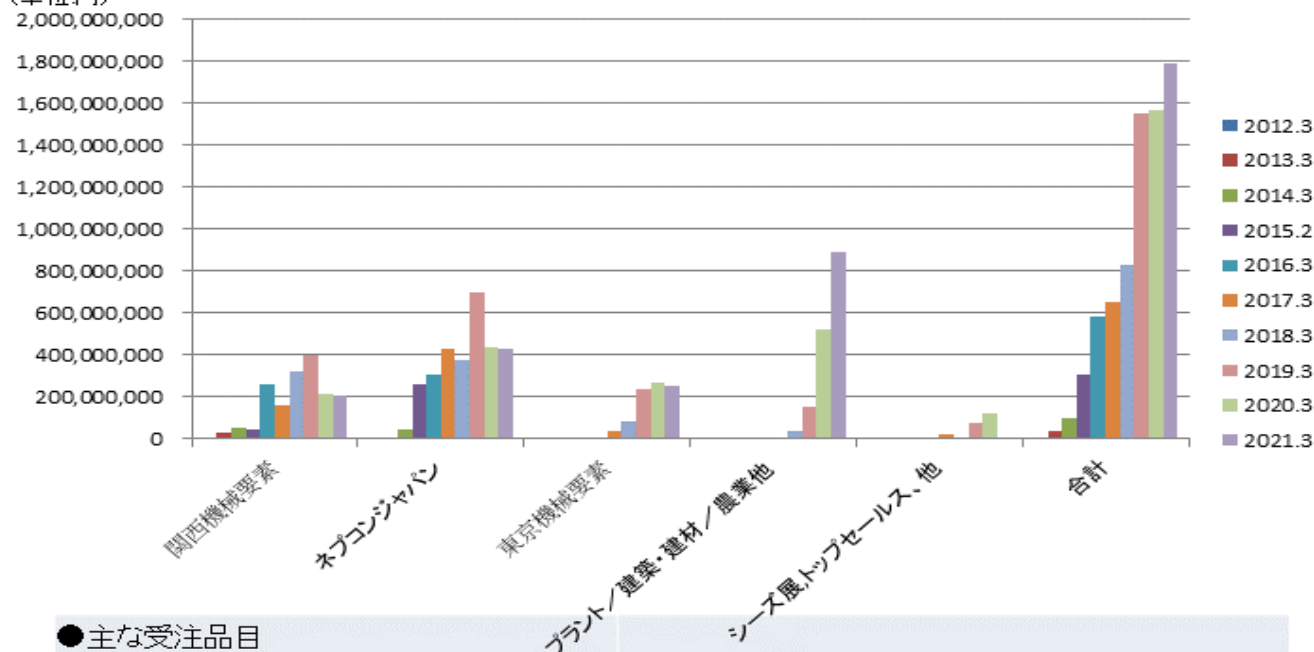
実施に向け関係各所と協議を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により今年度の開催は断念した。

愛媛県 大型展示会出展支援事業 新居浜市 ものづくりブランド創出支援事業 西条市 技術展示会出展事業 など

2021年3月

	関西機械要素	ネプコンジャパン	東京機械要素	プラント／建築・建材／農業他	シーズ展、トップセールス、他	合計
2012.3	7,160,000	1,090,000		—		8,250,000
2013.3	31,758,000	8,861,000				40,619,000
2014.3	53,548,000	43,976,000				97,524,000
2015.2	43,998,486	261,964,190		75,900	473,200	306,511,776
2016.3	259,459,096	309,778,213	8,827,700	872,250	4,500,000	583,437,259
2017.3	163,271,319	429,797,144	38,316,224	1,430,910	21,169,860	653,985,457
2018.3	322,356,791	376,810,530	79,497,130	39,504,959	7,494,000	825,663,410
2019.3	395,072,808	699,187,263	236,481,028	149,490,153	74,734,626	1,554,965,878
2020.3	213,521,793	434,371,491	271,496,748	523,056,336	124,051,501	1,566,497,869
2021.3	208,854,343	432,346,204	250,067,017	893,372,699	2,356,601	1,786,996,864
合計	1,699,000,636	2,998,182,035	884,685,847	1,607,803,207	234,779,788	7,424,451,513

(単位円)



●主な受注品目

- | | |
|------------------|--------------------|
| ・半導体製造装置、部品、ユニット | ・電気機器製造装置 |
| ・繊維関連部品、ユニット | ・測定装置、検査機器、それら部品 |
| ・製鉄金属加工機械、部品 | ・自動車部品、車輛部品、搬送機器部品 |
| ・金型設計、製作 | ・その他部品加工 |

1-2. 中小企業新事業展開支援事業

[新居浜市・委託 ¥3,811,978]

1. 目的

新居浜市内に本社、事務所を持つ中小企業のうち、新たな事業展開への意欲を有する企業を対象に、事業化への支援を行う。

2. 中小企業訪問調査及び事業化支援に関すること。

新居浜市内の企業訪問を行い、現在の状況、新型コロナウイルス感染拡大の影響などをヒアリングした。また支援施策、補助金、研修等の情報提供を行った。

その中で新たな事業展開や販路開拓を志す企業に対し、補助金に関する申請支援などを行った。

3. セミナー、相談会の開催に関すること。

「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」に関する個別相談会を実施して、ものづくり補助金への申請支援など行った。

新型コロナウイルス感染症の影響で当初予定していたセミナーが上半期では開催できず、下半期に随時開催した。中小企業者を対象に実施した相談会、セミナーは以下のとおり。

① 「ものづくり補助金」個別相談会

場所：えひめ東予産業創造センター 1F 小会議室

日時：令和2年7月20日 13:30~16:00

内容：市内企業2社に対して助言・指導を行った。

② 現場カイゼン発表会&見学会

発表者：有限会社永久堂、株式会社愛新鉄工所、登尾鉄工株式会社

場所：えひめ東予産業創造センター テクノホール、市内現場カイゼン実施企業

日時：令和2年11月17日 13:30~16:30 参加者（セミナー33名、見学会26名）



③ 「住友商事のローカル5Gの取組み」

講師：住友商事株式会社 理事 小竹 完治

場所：えひめ東予産業創造センター 一般研修室/オンライン参加

日時：令和2年11月25日 15:00~17:00 参加者（会場18名 web48名）

④ 「住友重機械工業における協働ロボットに関する取組」

講師：住友重機械工業株式会社 技術本部技術研究所 塚原 真一郎

場所：えひめ東予産業創造センター 一般研修室/オンライン参加

日時：令和3年3月2日 15:00~17:00 参加者（会場6名 web48名）

⑤ 「プロジェクト企画の裏側大公開」

講師：株式会社ミカンワークス 代表取締役 柳川 あこ

場所：オンラインセミナー

日時：令和3年3月18日 15:00~16:00 参加者（web15名）

4. 地域大企業ニーズ調査に関すること。

地元大手企業からのニーズ調査をもとに事業に関係する地元企業とのマッチングを行った。

1-3. 新居浜ものづくりブランド創出・支援等事業（展示会出展以外） [新居浜市・委託 ¥15,958,849]

1. 目的

新たな事業展開への意欲を有する企業が販路開拓・受注開拓に苦慮しており、市内中小企業がもつ優れた技術や製品を新たに「新居浜ものづくりブランド」として認定し、愛媛県の「スゴ技データベース」に登録している技術・製品とあわせて、強力に販路開拓支援を行うとともに、ブランドの創出・支援策の検討を行う。

2. 新居浜ものづくりブランド創出・認定委員会の開催

10月26日に第1回当該委員会を開催し、今年度の新居浜ものづくりブランド認定についての協議等を行った。応募のあった新規案件1件について審査を行った結果、新たな以下の技術について認定が認められた。

- 登尾鉄工株式会社 『大型建造物鉄骨製作』

3. 令和2年度「新居浜ものづくりブランド」の更新製品・技術の募集

認定から5年を経過する製品・技術に対して更新についての募集を行い、委員により3社4製品・技術についての更新審査を実施した結果、更新が認められた。

- 株式会社田口工業所 『アルミ構造物（曲げ、溶接技術）』
『ブスバー設計から製作、現地工事まで一貫した提案』
- 株式会社西岡鉄工所 『ファイバーレーザー溶接による薄板の低歪み溶接技術』
- 株式会社よしだ 『サンドブラストによる重防食塗装技術』

4. 令和2年度「新居浜ものづくりブランド」の認定式の開催

当該事業および認定企業を広く周知・PRするための認定式を実施した。

「新居浜ものづくりマイスター」認定式と合同開催とした。

日時：令和2年3月17日（水） 15:00～16:30

場所：リーガロイヤルホテル新居浜



1-5. 製造業イメージアップ事業

[新居浜市・委託 ¥2,169,893]

1. 目的

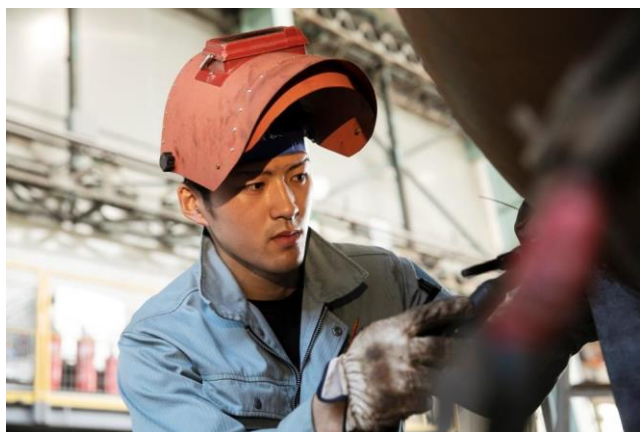
現在、若年層の製造業離れなどによる労働者不足が深刻化しており、工業都市である新居浜市においても労働力確保が課題となっている。そこで、市内外の若者・保護者層など普段ものづくりに携わる機会がない層へも「工都・新居浜」や「ものづくり」の魅力を発信し、製造現場のイメージアップを図り、新居浜市在住の若者の流出を防ぐとともに、新居浜市外から若者の流入促進やUターン・Iターンも促し、地域製造業における若年層の雇用につなげることを目指している。

2. 実施概要

- (1) 新居浜市 ゲンバ男子 <http://www.niihamabrand.jp/genba/>

ものづくりの製造現場で働くワーカーにスポットを当てて、そのかっこよさを伝えるため働く姿の写真とインタビューをHPに掲載してものづくりの魅力を発信する。

この「ゲンバ男子」の取り組みは大阪産業創造館がスタートしたもので、川崎市、北九州などをはじめ、現在全国で9都市が参画している。



《今年度の活動内容》

- ・新居浜ゲンバ男子ホームページへ7社10名の新規登録を行った。
おべ工業株式会社2名、株式会社コスにじゅういち2名、有限会社佐々木組2名、三光機械工業株式会社1名、株式会社続木鉄工所1名、登尾鉄工株式会社1名、萩尾機械工業株式会社1名
- ・新居浜市政だより8月号へ特集記事を掲載した。
- ・愛媛県立新居浜工業高等学校、愛媛県立東予高等学校、愛媛県立新居浜南高等学校へのPR
- ・グッズ制作（クリアファイル、カレンダー、うちわ、マスク）
- ・タイアップの実施（新居浜機械産業協同組合）

(2) 東予ものづくり祭 ^{フェス}（イオンモール新居浜 2020年11月14日～23日）

東予地域のものづくりのPRを行うイベントである「東予ものづくり祭」を実施し、昨年度に引き続いて当センターは事務局を担った。

主な実施内容は下記のとおり。

- ・愛媛県立新居浜産業技術専門校による体験教室
- ・企業・学校展示ブース
- ・FCバス（燃料電池バス）展示&試乗会



1-6. 新居浜市創造型研究開発支援事業

[新居浜市・委託 ¥2,893,540]

1. 目的

新居浜市内中小企業が、大学・公設試等と連携・協力して実施する研究開発を支援することで、新製品や新技術の事業化、実用化の促進と地域の牽引役となる企業や新事業の創出を図り、市内産業の活性化に寄与する。

2. 補助金公募に関すること

今年度の募集要項等を整備して4月から6月までの期間で募集を行った。

◇補助金額：上限500万円

◇補助率：補助対象経費の3分の2以内

◇事業期間：開始年度から2年度間（3月末まで）

3. 審査に関すること

市内企業3社から応募があり、7月3日に第1回委員会において審査会を開催した。応募企業の申請書類とプレゼンテーションによる審査を行い審議の結果、以下の1件が採択された。

- 「密閉性に優れたベルトコンベアローラの小径化のための新工法の開発」
申請者：萩尾高压容器株式会社

4. 研究開発の促進に関すること

採択企業にフォローアップを実施した。2ヶ年目の事業継続に関しては、3月18日に第2回審査委員会を開催して審議した結果、事業継続となった。不採択だった企業に関してもフォローアップなどを実施した。

また、昨年度に採択を受けた「SDGsに根ざした電気機器のリストラクチャー事業」（株式会社飯尾電機）の2ヶ年目の事業支援を実施した。

1-7. 台湾ビジネスマッチング調査事業（事業中止）

[新居浜市・委託 ¥0]

1-8. 新居浜市先進的技術実証支援事業

[新居浜市・委託 ¥1,500,000]

1. 目的

市内中小企業等を対象に、先進的な技術を活用した実証を支援することにより、次世代産業基盤となりうる新事業の創出促進を図り、市内産業の活性化、社会課題の解決に寄与する。

2. 補助金公募に関すること

同事業を実施するにあたり、「新居浜市先進的技術実証支援事業審査委員会」を組織し、設置要綱、募集要項などを整備して9月から10月までの期間で募集を行った。

- ◇補助金額：上限100万円
- ◇補助率：補助対象経費の2分の1以内
- ◇事業期間：11月から同年度3月まで

3. 審査に関すること

市内企業2社から応募があり、11月24日に第1回委員会において審査会を開催した。応募企業から申請書類とプレゼンテーションによる審査を行い、以下の実証事業2件が採択された。

- 「ローカル5Gの普及促進を目的とした実証事業」
申請者：新居浜市ローカル5G普及促進協議会
構成：株式会社ドリームクラフト、株式会社ハートネットワーク、ソフトバンク株式会社
- 「ハイブリッドキャストECサイトポータル構築」
申請者：ビーコシーフード株式会社

4. 研究開発の促進に関すること

採択企業へのフォローアップや実証実験に関してHPやSNS等を用いた広報活動を実施した。また、実証事業の結果に関しては、3月30日に第2回委員会を開催して採択企業から実証結果の報告を行った。

1-9. 感染症対策製品デジタル営業推進事業

[愛媛県・委託 ¥1,583,539]

1. 目的

新型コロナウイルス感染症収束の目途がつかない中、県内企業が開発した感染症対策製品について、企業単独ではアプローチが難しい医療機関等への販路開拓を支援するため、医療関係者とのネットワークを有する専門家の活用やデジタル技術を取り入れた営業活動により、県内企業と医療機関等との商談機会を創出し、県内企業の売上拡大を図る。

2. 販路開拓支援について

(1) コーディネーターの設置

当該地域を中心に活動するコーディネーター2名、都市圏を中心に活動するコーディネーターを1名配置した。

(2) 支援対象となる県内企業のリストアップ及び提案資料の作成

愛媛県内企業20社35製品をリストアップし、提案資料の作成を行った。

- (3) コーディネーターと連携した県内企業と医療機関等とのビジネスマッチング支援
約50社の医療機関等に向けて、リストアップした資料を元に非対面でのデジタル技術も活用しながら販路開拓を実施した。
その結果、西条市内の病院、大阪の整骨院などへの納入が決定した。
- (4) コーディネーターが行う活動の調整・管理した。

2-1. 経営者支援事業

〔自主事業（民間企業等からの委託・請負） ¥844,400〕

1. 目的

先端設備導入による製造現場の生産性向上や事業計画策定による経営基盤の強化などの支援を通じて企業の成長を促進させる。

2. 概要

- (1) 「ものづくり補助金」や「事業再構築補助金」等の申請支援、「愛媛県スゴ技データベース」への推薦などを行った。
- ・対象者：主に中小企業の経営者および関係者
 - ・支援内容：新たな事業展開への助言指導、販路開拓支援、等
 - ・成果：ものづくり補助金 採択 2件
地域未来牽引企業 採択 1件
愛媛県スゴ技ものづくりデータベース 採択 1件
- (2) 一般社団法人新居浜ものづくり人材育成協会が新居浜市から委託を受けて実施している「新居浜ものづくりマイスター事業」においてマイスターへの取材など宣伝広報活動を支援した。
- (3) リージョナルデザイン株式会社が愛媛県東予地方局から委託を受けて実施している「東予東部ものづくり企業合同説明会及び企業見学会」において講師として協力・支援した。
- (4) 株式会社大石工作所が取り組む「人材育成教育体系の構築及び運用」において、人事制度体系の構築及び運用・定着やキャリア・プランシートの作成等を指導・支援した。

3. 成果目標・効果

当該企業の事業展開に応じた支援することで、中長期的に安定する経営内容に導いた。
併せて、場合によって自主事業収入を得ることにより当センターの経営に寄与した。

2-2. 研修事業

〔自主事業（受講料収入及び民間企業等からの委託・請負） ¥1,132,775〕

1. 公募研修

研修	日程	受講者数 (延べ人数)
Auto-CAD基礎講座（全2回）	令和2年8月22日、8月29日	4名
JW-CAD講座（全2回）	令和2年9月19日、9月26日	10名
実践問題解決研究会（全4回）	令和2年10月3日、11月7日、12月5日、令和3年1月9日	12名
		26名

2. 受託研修

企業・団体等	研修	日程	受講者数
株式会社田窪工業所	新人社員研修①新人ビジネスマナー	令和2年4月3日	11名
	新人社員研修②仕事力・人間力UPへの習慣	令和2年4月6日	11名
住友化学株式会社	EXCELスキルアップ研修①	令和2年5月26日	5名
	EXCELスキルアップ研修②	令和2年8月31日	10名
新居浜機産青年部	①「銅」を知るセミナー	令和2年9月23日	12名
	②「Zoom」の使い方セミナー	令和2年11月11日	13名
			62名



2-3. メンテナンス改革推進包括支援事業

[自主事業(民間企業等からの委託・請負) ¥3,877,500-]

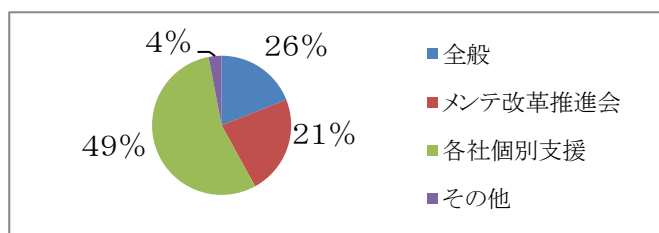
1. 支援全般

化学プラントのメンテナンスを行っている企業12社の支援を行った。

各社の業務改革・改善が円滑かつ効果的に遂行できるよう各種支援を行うことによって、各企業の経営基盤強化を図っている。

2020年の包括支援状況をグラフに示す。

支援内容別の内訳は、全般支援26%、メンテ改革推進会支援21%、各社個別支援49%、その他4%となった。(Σ1,193hr)



2. 実施内容

(1) 各社ごとの「個別支援」

① 2020年度メンテ改革活動計画書作成および活動定着支援

- ・客先から提示された2018～2020年度メンテ改革活動の骨子を基に、各社の2020年度改革活動計画書の作成を支援した。また、それによる改革活動の定着を支援した。

② 2021年度～2023年度メンテ改革活動計画書の作成支援

- ・客先から提示された2021～2023年度メンテ改革活動の骨子を基に、各社の第12期(2021年度～2023年度)改革活動計画書の作成を支援し、12月に完成した。

③ 客先監査に対するフォローアップ支援

- ・客先が行った各社の2019年度メンテ改革活動状況の監査会に参加し、各社のフォローアップを行った。

④ 客先提出の月次活動報告書の作成支援

- ・全社に対して「月次ゾーンメンテナンス活動報告書」の作成支援を行い、各社期日までに客先へ提出した。
- ・各社の改革取組み指標に対する実績を取りまとめて客先へ報告した。

(2) 対象12社で組織するメンテナンス改革推進会への全体支援

① 推進会の運営・各種行事のサポート

- ・メンテナンス改革推進会を毎月実施して、各社ごとの「個別支援」の取組み等の定着を図った。

② 推進会と顧客との調整

- ・各種取組みがスムーズに推進できるよう推進会と客先との事前調整、事後フォローを行った。

(3) その他

① 「包括支援月次報告書」を作成し、関係者へ配付した。

(4) 対象12社とのメンテナンス改革推進包括支援契約

対象12社との契約は令和2年12月で満了し、12社中11社とは令和3年1月から1年更新して新たにスタートした。また、新規の1社とは令和3年4月からの包括支援実施に向けて事前調整等を行った。

2-4. 新居浜市中小・中堅企業経営力改善事業

[新居浜市・委託 ¥2,575,959]

2-5. 中小企業「カイゼン」支援事業

[西条市・委託 ¥2,496,000]

1. 目的

地元中小・中堅企業においては、新事業展開や新規取引のために強い経営環境を整えることが必要である。収益性の向上、合理化やコスト低減等を目的とした、中小企業における生産性向上のための現場カイゼンを推進する。

2. 概要

全国中小企業を中心に現場カイゼンを指導している株式会社カイゼン・マイスター(神奈川県)の指導による個別改善活動を実施、今年度改善指導を受けている企業は新居浜市の2社と西条市の1社(もう1社は新型コロナウイルス感染症拡大で今年度の実施を見送った)。今年度は新型コロナウイルスが感染拡大したため、当初よりスタートが遅れ10月から指導を実施した。

3. 成果目標・効果

各社カイゼンリーダーおよびサブリーダーを決定し、それぞれの手法・形式でカイゼン活動を開始した。まずは課題問題の抽出を挙げ、その改善対策の実施を目的とした社内に活動を浸透させるために、メンバーを対象に座学による勉強会なども実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で1月以降リモートによる指導に切り替えた。

実施日	実施企業	
令和2年10月1日(木)	サヨリ商店街株式会社(9:00~12:00)	伊予興業株式会社(13:00~16:00)
令和2年10月2日(金)	宮田鉄工株式会社(9:00~12:00)	—
令和2年11月16日(月)	伊予興業株式会社(9:00~12:00)	サヨリ商店街株式会社(13:00~16:00)
令和2年11月17日(火)	宮田鉄工株式会社(9:00~12:00)	—
令和2年12月15日(火)	サヨリ商店街株式会社(9:00~12:00)	伊予興業株式会社(13:00~16:00)
令和2年12月16日(水)	宮田鉄工株式会社(9:00~12:00)	—
令和3年1月28日(木)	伊予興業株式会社(9:00~12:00)	サヨリ商店街株式会社(13:00~16:00)
令和3年1月29日(金)	宮田鉄工株式会社(9:00~12:00)	—
令和3年2月24日(水)	サヨリ商店街株式会社(9:30~11:30)	宮田鉄工株式会社(13:00~16:00)
令和3年2月25日(木)	伊予興業株式会社(10:00~12:00)	—
令和3年3月23日(火)	伊予興業株式会社(9:30~11:30)	サヨリ商店街株式会社(13:00~15:00)
令和3年3月24日(水)	宮田鉄工株式会社(9:00~11:30)	—

(1) 伊予興業株式会社(新居浜市)



(2) サヨリ商店街株式会社 (新居浜市)



(3) 宮田鉄工株式会社 (西条市)



2-6. プラントメンテナンス技術者・技能者育成事業

〔自主事業 (受講料収入等) ¥4,439,170〕

1. 研修の実施

- (1) 初任コース〔人財育成構想:1科目、安全衛生教育:2科目、法定特別教育:7科目〕 7社・18名
期間:令和2年5月12日(火)~5月28日(木) 11日間 75時間00分
会場:ETICC、新居浜市ものづくり産業振興センター、日本クレーン協会愛媛支部、住友化学㈱
- (2) 初級コース・機械〔12科目〕 9社・19名
期間:令和2年5月30日(土)~7月9日(木) 14日間 93時間30分
会場:ETICC、新居浜市ものづくり産業振興センター、住友化学㈱
- (3) 初級コース・メカトロニクス〔7科目〕 4社・8名
期間:令和2年6月3日(水)~7月15日(水) 7日間 49時間00分
会場:新居浜高等技術専門学校(メカトロニクス科実習棟)
- (4) 初級コース・電気〔7科目〕 4社・6名
期間:令和2年6月6日(土)~7月18日(土) 7日間 49時間
会場:住友化学株式会社 愛媛工場 実習センター
- (5) 初級コース・計装〔6科目〕 3社・6名
期間:令和2年6月6日(土)~7月18日(土) 6日間 42時間
会場:住友化学株式会社 愛媛工場 実習センター
- (6) 中級技能者コース・職務能力向上教育〔3科目〕 4社・8名
期間:令和2年6月8日(月)~8月8日(木) 6日間 43時間20分
会場:ETICC、新居浜市ものづくり産業振興センター
- (7) 中級技能者コース・機械〔中級回転機仕上げ技術・技能向上教育〕 4社・7名
期間:令和2年7月13日(月)~7月17日(金) 5日間 35時間
会場:新居浜市ものづくり産業振興センター
- (8) 中級技術者コース〔機械:21科目 14日間 91時間00分〕
〔電気・計装:各16科目 13日間 78時間30分〕
コース受講…機械:2社・3名、電気:3社・4名、計装:1社1名 計:5社・8名

科目選択受講…機械:2社・5名、電気:1社・2名、計装:1社2名 計:4社・9名 総計:8社・17名
 期間: 令和2年8月7日(金)～9月5日(土)、令和2年12月12日(土)～令和3年1月30日(土)
 会場: ETICC、住友化学株式会社、新居浜工業高等専門学校、愛媛県総合科学博物館、YOURS



2-7. 中小企業等担い手育成支援事業

[厚生労働省・委託 ¥20,661,118]

1. 目的

プラントメンテナンス関連企業の事業主と連携した雇用型訓練を実施し、個々の企業における訓練計画策定や進捗管理、確実な技能修得を支援することで、しっかりとしたスキル(業界での実務経験や公的資格)を身につけた人材を育成することにより、事業所の生産性向上や業界での定着を行うだけでなく、明確な目標(資格取得だけでなく、業界や地域の支え手としての意識の涵養など)を持って働きながら訓練が受けられる環境の整備に取り組む。

2. 概要

- (1) 本事業に係る周知業務
 - ・プラントメンテナンス関連企業、組合・団体等に事業周知、訓練生募集、等
- (2) 訓練計画の策定に向けた支援
 - ・モデル的な訓練計画及び個々の訓練生に応じた計画の策定支援、改善
- (3) OFF-JT講習の実施
 - ・目標とする知識・技能レベルの修得に必要な研修実施、テキスト再点検及び講習の追加等
- (4) OJT訓練の進捗把握
 - ・月次及び3ヶ月ごとの習熟度把握の方法、体制等の検討及び試行
- (5) ジョブ・カード及び職業能力証明シートの作成支援
 - ・進捗度把握等の訪問時に合わせた支援方法の検討・実施、改善
- (6) 技能検定対応の検討
 - ・職種、受検時期、場所、事前講習及び受検支援等の対応策検討

年度	訓練生	目標とする資格	資格取得
2019	9名	・保全技能士22名、・仕上げ技能士3名、 ・電気工事士2名、・計装士1名、計28名	2級機械保全技能士3名 第一種電気工事士1名
2020	18名		2級機械保全技能士7名
計	27名	2020年度までに17名が受検。合格11名・不合格6名(学科のみ合格3名を含む)	

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で検定が中止になったり都市圏での受検を自粛したりしたため2020年度までの受検者は17名にとどまった。
 2021年度に受検する方は16名。(不合格者6名を含む)

- (7) 人材育成推進指導者の育成、講習
「人材育成推進指導者研修」を実施
 - ・日時：令和2年12月17日(木) 9:15～17:00
 - ・場所：愛媛県総合科学博物館 2階 第一研修室
 - ・参加者：6社10名
- (8) 相談支援
 - ・雇用先事業所及び訓練生に対する対応策の検討



2-8. 新居浜市IoT推進ラボ実施事業（令和3年度へ継続）

[新居浜市・委託 ¥633,909]

1. 目的

新居浜市内企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進、AIやIoT等の先進的技術を活用した新事業創出、IT利活用の推進、機運醸成、企業間ネットワークの拡大によるオープンイノベーションの促進を図る。

2. ラボ運営に関すること

産学官金で構成する「新居浜市IoT推進ラボ」（以下ラボ）の設置運営を行い、地域の課題に応じたIoTプロジェクトの発掘、企業の先進的な取組の横展開を図ることにより地域全体のDXを推進した。国の地方版IoT推進ラボに申請し採択を受けた。

ラボの実施事業の企画・事業評価を行う全体委員会の設置、個別分野の協議や企業同士の交流促進を目的として設置するワーキンググループの開催に加えて、ラボ参画企業を含めたラボ総会の開催に向けた準備を進めた。

3. 企業のDX推進に関すること

市内企業のデジタル化への取り組み状況や関心についてヒアリングを行い、今後のDX支援に関する情報収集を行った。

また、企業支援を行う支援チーム編成に向けて専門家、ラボコーディネータ、学術機関、市内ITベンダーに支援に関する調整を行った。

4. DX・IT人材の育成に関すること

企業のDXを牽引するDX人材やITリテラシーを持つIT人材の育成、ITスキルを活用した起業、副業を支援するため、必要な資格やセミナー開催に関する情報収集を行った。

5. IT企業誘致に関すること

ラボ及びIT企業誘致の情報発信のHP作成に関わる準備を進めた。

4-1. 施設賃貸事業

[自主事業（施設及び機器の使用料収入） ¥18,692,733]

1. 技術開発室の提供

現在の入居企業は次の7社。14室すべてを使用中。（令和3年3月31日現在）

入居企業	事業内容
株式会社シーライブ 代表取締役 鈴木 康士 [201・207・208号室]	ハードウェア/ファームウェア/ソフトウェア等の開発・設計・製作、コンピュータベース計測システムのシステムインテグレーション、など
株式会社クリエイト設計 代表取締役 橋本 広志 [203号室]	産業機械装置、産業用ロボットの設計開発・製図 産業機械装置の配管設計
株式会社トップエフォート 代表取締役 莖田 政克 [204号室]	パソコン及び、簿記・会計スクール業 人材育成及び職業能力開発のための教育事業 ソフトウェアの開発・販売、ホームページ制作・販売

ピーシートレンド株式会社 代表取締役 浦田 晋治 〔205号室〕	OA・FA業務用ソフトウェアの受託開発や各種情報処理サービス、自社オリジナルソフト「ポカノン」の開発、販売
ピクセルソフトウェア株式会社 代表取締役 矢吹 隆志 〔206・309・310・311・312号室〕	コンピュータの設計・開発・試作・研究、ソフトウェア設計・製作、WEBシステム設計・開発、プロセス制御システム開発・設計・製造 など
有限会社ワイエムテック 代表取締役 山徳 昭則 〔313号室〕	ソフトウェア開発 電子機器開発(組込ソフトウェア設計・製作)
リージョナルデザイン株式会社 代表取締役 安孫子 尚正 〔314号室〕	都市計画コンサルタント(市民参加型業務アシスト、官公庁業務アシスト、民間開発企画、調査、設計)、まちづくりコンサルタント、建設コンサルタント など

- (1) 202号室は、令和2年8月14日から11月18日の間、入居企業である株式会社トップエフォートが求職者支援訓練「知識・技能習得科 OA関係コース」の会場として使用した。また、令和3年3月26日から6月25日までの間、同社による求職者支援訓練「実践コース OA簿記事務科」の会場として使用中。それ以外の期間は入居企業のミーティングルームとして使用した。

2. 入居審査専門委員会

令和3年3月22日(月)に開催、入居企業の今年度の活動状況・決算等を審査し助言した。入居企業7社すべて特段の問題はなく、継続しての入居が承認された。

3. 施設・機器の貸与

テクノホール、応接会議室、小会議室、一般研修室、等の施設の他、プロジェクター、スクリーン、等の機器貸与を行った。

4. テクノホールの改修

故障していたテクノホール空調機の交換工事(令和3年3月)を行った。これにより年間を通じてのテクノホールの使用が可能となった。また、ホールの一部をバックヤード等として使用するため仮設していたパーテーションを撤去し、ホール本来の広さに回復した。あわせて傷んでいた床面(タイルカーペット)を張り替えるなど、ホールをセンター開所時に近い状態まで改修した。今後の積極的な利活用を期す。

6-1. 広報事業

〔自主事業(特定資産運用益、等) ¥310,000〕

1. ホームページの運営

当センターのホームページの運営を通じて、地域企業に関連するセミナー、研修、補助金等の情報の発信を行った。セッション数9,100(2020/4/1~2021/3/31)。約24.9/日。

新居浜ものづくりブランドのホームページによる情報発信を行った。セッション数17,959(2020/4/1~2021/3/31)。約49.2/日。

2. メーリングリストによる情報提供

国や県の補助施策情報、技術セミナー、人材研修等の情報について、メーリングリストにて地域企業へ情報提供を行った(随時)。

6-2. 新居浜市水素社会推進事業

〔新居浜市・委託 ¥292,600〕

1. 目的

「東予ものづくり祭(フェス)2020」のイベントの一環として、四国経済産業局、徳島県、松山市と連携し、燃料電池バス四国横断事業を実施することにより、水素等のクリーンエネルギー社会の実現に向けた啓発を図った。

2. 実施概要

新居浜市内の小学生やその保護者を中心とした一般市民を主たる対象とし、燃料電池バス試乗体験に

係る受付や案内、水素に関するパネル展示コーナーを設置し、その説明を行うなど、水素等に関する市民の理解の一助となる展示を実施した。その他、燃料電池バスの試乗を体験した方に対し、アンケート調査を実施した。

(1) 「東予ものづくり祭り2020」における「水素に関するパネル展示」について

水素に関するパネル展示コーナーを設置、その説明を行い水素等に関する市民の理解の一助となる展示を実施した。

日時：令和2年11月22日(日) 14:00~16:35、令和2年11月23日(月) 10:00~16:35

場所：イオンモール新居浜 1F エディオン前駐車場

観覧者数：約50名(11/22：20名、11/23：30名)



(2) 「東予ものづくり祭り2020」における「FCバス展示&試乗会」について

FCバス(燃料電池バス)の展示及び試乗会を開催、水素等に関する市民の理解の一助となる展示を実施した。また、FCバスの試乗を体験した方に対してアンケート調査を実施した。

【展示】

日時：令和2年11月22日(日) 14:00~16:35、令和2年11月23日(月) 10:00~16:35

場所：イオンモール新居浜 1F エディオン前駐車場 ※ 試乗運行中以外の時間帯で展示

【試乗会】

令和2年11月22日(日) イオンモール新居浜周辺の周遊

運行時間	14:00~14:20	15:00~15:20	16:00~16:20
乗車人数	22人	21人	23人

令和2年11月23日(月) イオンモール新居浜と住友化学歴史資料館の往復

運行時間	10:30~11:15	12:00~12:45	13:30~14:15	15:00~15:45
乗車人数	20人	18人	22人	21人



【アンケート】

二日間で69名(男性37名・女性32名)のアンケートを取った。主な意見は以下のとおり。

- *環境に優しくとても乗り心地も良いバスでした、*走行中の静かさに驚きました、
- *水素ステーションがもっと増えてほしい!、*水素の安全性がクリアになればよいと思います、
- *低炭素社会を実現するために国・県・市・事業者が協働した取り組み必要、など。

7-1. 交流事業

[自主事業(特定資産運用益、等) ¥126,958]

1. 「愛媛大学工学部サテライト」の設置

平成26年12月、当センター内に愛媛大学工学部と地域との連携強化を目的とした「愛媛大学工学部イノベーションセンター」が設置された。そこで培われたノウハウはエンジニアリングモール(工学部附属センター群)に受け継がれ、その役割は十分に果たしたとし、発展的に解消することとなった。

しかし、コーディネーター等の活動拠点としてこれまで醸成してきた東予地域での太いパイプの継続は必要であると判断され、当センター内にある拠点については今年度4月より名称を「工学部サテライト」と変更して引き続き設置されることとなった。

2. 各種委員や講師等の就任

- 委員：新居浜市企業城下町版生涯活躍のまち推進協議会委員（専務理事）
愛媛大学社会共創学部社会共創推進会議委員（事務局長）
愛媛県立東予高等学校学校 学校評議員及び学校関係者評価委員（専務理事）、
新工マイスタープロジェクト委員会委員（事務局長）
- 講師：新居浜工業高等専門学校 次世代型プラント技術者育成特別課程（コーディネーター5名）
新居浜工業高等専門学校 専攻科1年生ベンチャービジネス概論（部長）
愛媛県立新居浜南高等学校 インターンシップ代替体験授業（事務局長）

3. セミナー等の共催・後援

- 共催：「台湾ビジネスセミナー」（主催：西条市、等）
後援：「いよぎん新居浜・西条みらい起業塾」創業セミナー（主催：株式会社伊予銀行）

8-1. 高校生溶接技術競技会事業

[委託事業・四国地区高校生溶接技術競技会実行委員会の事務局 ¥35,000]
[自主事業（特定資産運用益、等） ¥140,000]

1. 目的

次世代を担う高校生を対象に溶接技術競技会を開催し、溶接技術の向上と溶接技術者の育成を図り、当地域をはじめ我が国のものづくり産業の国際競争力を高めることを目的とする。

2. 令和2年度競技会の中止

競技会開催に向けて準備を進めていたが、4月17日、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大を受け、参加者をはじめ関係者等の安全を第一に考え、実行委員会において「今年度の競技会開催中止」を決定し、共催団体・企業や協賛各社等に「四国地区高校生溶接技術競技会（7月22日予定）」並びに「全国選抜高校生溶接技術競技会in新居浜（8月1日予定）」の開催中止を連絡した。

3. 令和3年度競技会開催に向けた検討

- コロナ禍での次年度開催に向けた実施方法やスケジュール等を検討した。
また、四国工業教育研究会より「公益社団法人全国工業高等学校長協会」が主催する「高校生ものづくりコンテスト全国大会 溶接部門」の四国地区予選に本競技会を位置付けたいとの打診を受けて、協力・連携体制の構築についても検討した。
- (1) 令和3年1月16日（土） 13:30～15:30 四国地区溶接技術検定委員会
(2) 令和3年2月6日（土） 13:00～15:00 四国地区溶接技術検定委員会

4. 「(令和3年度)第10回四国地区高校生溶接技術競技会」の開催準備

- (1) 従来のような競技会場に一堂に会しての競技会は実施せず、選手に競技材を郵送し先生等指導者の管理監督の下、競技ルール・手順等に従った溶接競技を実施する。
(2) 実行委員会に返送された作品により審査・評価し、優秀者の表彰を行う。
(3) 今回の審査・評価においては、従来の「外観審査」と「課題違反の減点」に加え、「放射線透過試験」と「曲げ評価試験」を実施し、より精度の高い溶接技能の審査・評価とする。

5. 「(令和3年度)第5回全国選抜高校生溶接技術競技会in新居浜」の開催準備

- (1) 開催については主催者である新居浜市において検討・調整中。

法人事業

[自主事業（基本財産運用益・雑収入、等） ¥2,964,704]

本法人を適正かつ健全に経営・運営・管理するために、理事会や評議員会を開催する他、法人の経営・運営・管理に係る諸々の業務を行った。

1. 理事会

回	開催日時	議案・その他
第1回 〔定時〕	5月27日(水) 10:00～11:00	1. 令和元年度事業及び決算について 2. 令和2年度収支予算の変更について 3. 令和2年度定時評議員会の招集及び提出議案について 4. 理事長及び専務理事の職務執行状況報告 (令和2年度定時理事会開催時まで)
第2回 〔定時〕	10月30日(金) 13:30～14:00	1. 令和2年度事業計画の変更及び補正予算について 2. 理事長及び専務理事の職務執行状況報告について (令和2年度上半期)
第3回 〔定時〕	3月22日(月) 10:00～11:05	1. 令和2年度事業計画の変更及び補正予算について 2. 令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 3. 理事長及び専務理事の職務執行状況報告について (令和2年度下半期)

2. 評議員会

回	開催日時	議案・その他
第1回 (臨時)	5月18日(月) 13:30～13:40	1. 評議員の選任について〔齊藤直樹氏〕 2. 理事の選任について〔宮崎修氏〕 3. 評議員の辞任について(報告)〔馬越史朗氏〕 4. 理事の辞任について(報告)〔宮崎博夫氏〕 <みなし決議>
第2回 〔定時〕	6月11日(木) 13:25～14:55	1. 令和元年度の計算書類等の承認について 2. 令和元年度の事業について(報告) 3. 令和2年度の事業計画及び予算について(報告)
第3回 (臨時)	9月14日(月) 13:30～13:40	1. 評議員の選任について〔大場浩正氏〕 2. 監事の選任について〔井上和弘氏〕 3. 評議員の辞任について(報告)〔金山貴博氏〕 4. 監事の辞任について(報告)〔平尾秀一郎氏〕 <みなし決議>

3. 事務局

(1) 資産運用

7月に基本財産で利付国債(額面1億円を2口)と地域産業育成基金で四国電力債と日本道路公団保有債券(額面各1億円)の合計4億円の債券を購入した。

従来の定期預金利息に比べ、より大きな運用益が得られることとなった。

(2) 法人運営の対策を検討

(3) オープン30年を迎えるにあたっての「施設運営管理」の対応・検討